

# 船舶事故調査報告書

平成29年1月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年7月10日 15時45分ごろ
発生場所	広島県呉市大麗女島北東岸沖（呉港呉区） 小麗女島灯台から真方位053° 660m付近 （概位 北緯34° 14.6′ 東経132° 31.5′）
事故の概要	プレジャーボート第二波丸は、北西進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年9月20日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 第二波丸、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	270-45709 広島、医療法人社団更生会
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底外板に擦過傷、舵板及びプロペラ軸に曲損、プロペラ翼に欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人を乗せ、広島県広島市所在のマリーナへの帰途につき、約10km/hの対地速力で大麗女島北東岸沖を北西進していたところ、浅瀬に乗り揚げた。 船長は、大麗女島北東岸沖を航行するのが初めてで、大麗女島北東岸沖の浅瀬の存在を知らなかった。
分析	本船は、船長が、大麗女島北東岸沖の浅瀬の存在を知らなかったことから、同浅瀬に向けて航行したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、大麗女島北東岸沖の浅瀬の存在を知らなかったため、同浅瀬に向けて航行し、本船が同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に航行海域の水路調査を行うこと。